

滝沢市下水道事業経営計画及び  
汚水処理計画に係る意見書

平成26年11月28日

滝沢市下水道事業経営懇談会

## 目 次

はじめに	1
1 経営計画の策定	
1-1 経営基盤の強化	1
(1) 経費の削減	1
(2) 適正な使用料収入の確保	2
(3) 組織体制強化	2
1-2 計画の見直し	2
2 滝沢市汚水処理実施計画の見直し	
2-1 公共下水道と合併処理浄化槽	2
(1) 汚水処理方法の見直し	2
(2) 市町村設置型浄化槽	2
(3) 団地型集合合併処理浄化槽	2
(4) その他の汚水処理技術の情報収集	3
3 雨水対策の推進	3
4 積極的な情報公開	3
4-1 市民への意識啓発	3
4-2 市民への情報公開	3
5 資料	
(1) 懇談会委員名簿	4
(2) 懇談会開催経過	5

はじめに

下水道は生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全を図る社会基盤施設である。

また、住民生活において、欠くことのできない重要な施設であり、管理の適正化と経営の安定化に向けた取り組みが必要である。

滝沢市においては、昭和54年に公共下水道事業に着手し、同58年に供用開始して以来、計画的に整備を進め、平成25年度末の事業認可面積は768ha、うち673haが整備済みであり、その人口普及率は62.1%、水洗化率は92.3%となっている。

しかし、平成25年度末の下水道全体計画面積は2,013haであり、整備済みの面積673haは全体計画面積の33%に過ぎない。

未整備区域における公共下水道整備は、住民の関心と期待が高い反面、その整備には、さらに長い年月を必要とするため、現実的な整備手法とは言い難い様相を呈している。

また、依然として厳しさを増す財政状況や使用料収入の鈍化により、必要な汚水処理費を賄うことができず、一般会計から多額の繰入金が入入されている状況であり、事業を安定的に継続するためにも、下水道財政基盤の強化は、極めて大きな課題である。

一方、平成26年7月には、国において策定された「新下水道ビジョン」において、「未普及地域については、汚水処理施設の適切な役割分担の下、今後10年程度で施設整備を概成させる。」との中期目標が掲げられ、それを目指すアクションプランが策定されることとなっている。

具体的には、汚水処理全体でみた最適化手法の確立のため「複数の汚水処理施設を一体的に捉えた管理の最適化のための手法を確立する」施策を掲げるものである。

このような中、本懇談会は、平成24年11月22日、下水道事業の経営の健全化を図るため、今後の経営計画と汚水処理計画について、市長より意見を求められている。

このことから、一般会計との適正な経費負担区分を前提とした独立採算の原則を基本に、下水道事業経営計画及び滝沢市汚水処理計画について、5回にわたり慎重に検討した結果、次のとおり一定の方向を得たのでここに提言する。

## 1 経営計画の策定

### 1-1 経営基盤の強化

#### (1) 経費の削減

下水道事業全般のコスト削減を図ることはもとより、下水道施設の効率的な延命化による投資費用の削減や、現状において課題となっている不明水の原因を調査し、対策を講じることにより不明水処理費の削減を図るべきである。

## (2) 適正な使用料収入の確保

適正な使用料収入を確保するためには、供用開始区域内の公共下水道への接続率の向上を図るべきである。そのため、これまでの水洗便所改造資金補給事業に加え、国庫補助制度を有効活用し、接続工事に対する助成を検討するなど、具体的に接続率の向上につながる制度へ見直しを行う必要がある。

併せて、水洗化の意義や水洗化による快適な生活について、住民に対して分かり易く説明し、十分な周知を図ることが必要であると思われる。

また、使用料の滞納処分を行うなど収納率の向上に努めるとともに、定期的に使用料の見直しを検討し、経費回収率の適正化を図るべきである。

## (3) 組織体制強化

地方公営企業法を適用して公営企業会計へ移行すること及び水道部署と統合して窓口業務の一本化を図ることなど効率的事業推進を図るべきである。

### 1-2 計画の見直し

計画的かつ効率的な事業運営を進めるとともに、常に事業の進捗状況を把握し、積極的に住民への情報公開や説明を行い、市内外の経済社会情勢や市民ニーズを踏まえて、必要に応じ計画の見直しを行うべきである。

## 2 滝沢市汚水処理実施計画の見直し

### 2-1 公共下水道と合併処理浄化槽

#### (1) 汚水処理方法の見直し

現在の公共下水道計画区域を整備完了するには40年程度の年月が必要と見込まれており、市内全域について水洗化を促進するためには、それぞれの整備手法と年次計画の明確化し、今後10年をめどに公共下水道を整備する区域と合併処理浄化槽で処理する区域を定める本見直し案は妥当であると考ええる。その際には、公共下水道で整備することとしていた区域の住民には合併処理浄化槽のメリットを十分に説明し理解を得ること、また、合併処理浄化槽を設置した場合の補助制度拡充による負担の軽減を検討し、住民に説明することが必要である。

また、常に整備の進捗状況を把握し、積極的に住民への情報公開や対話を行い、必要に応じ処理方法の見直しを行うべきである。

#### (2) 市町村設置型浄化槽

市主導で設置できる市町村設置型浄化槽について、メリット・デメリットを整理し、実施の可否について検討することが必要である。

#### (3) 団地型集合合併処理浄化槽

団地型集合合併処理浄化槽により汚水処理している区域は、早期に公共下水道への接続を図るべきである。

#### (4) その他の汚水処理技術の情報収集

汚水処理施設の新技术の情報収集や、国等へ低コストな汚水処理技術開発の推進に係る働きかけなどを行い、地域特性にあった効率的汚水処理の導入を研究すべきである。

### 3 雨水対策の推進

浸水被害の無い安心安全なまちづくりを目指し、雨水施設整備計画を策定し、整備事業を継続して実施するべきである。

### 4 積極的な情報公開

#### 4-1 市民への意識啓発

衛生的な環境は地域住民の財産である。汚水処理は環境への負荷を軽減し、滝沢市の恵まれた自然環境、恵まれた居住環境といった地域環境としての財産を守るためにもあることを説明し、汚水処理の早期整備をすることの必要性を理解してもらうべきである。

#### 4-2 市民への情報公開

下水道施設の適切な維持管理を継続し、住みやすい生活環境を提供し続けるためには、下水道事業に対する住民の理解と協力を得られることが必要である。そのため、適宜、水洗化を行うことによる生活環境への効果、事業の現状や取組等について、広報誌やホームページなどを大いに活用するとともに、図を用いるといった、住民にも理解しやすい説明の方法を工夫し、よりわかりやすい形での情報公開に努めるべきである。

また、理解を得るために住民との積極的な対話の機会を設ける必要があり、特に今回の汚水処理計画の見直しに伴い整備手法が変更となる住民等に対して、丁寧な対応を行い、理解を得られるよう努めることを求めるものである。

5 資料

(1) 懇談会委員名簿

滝沢市下水道事業経営懇談会委員名簿

		平成25年度委員		平成24年度委員	
		(任期)平成25年11月25日～ 平成27年11月24日		(任期)平成23年10月24日～ 平成25年10月23日	
		職名	氏名	職名	氏名
1	3条(1)ア 経営、水道又は環境に関する学識経験者	東北工業大学 工学部環境エネルギー学科教授	山田 一裕	東北工業大学 工学部環境エネルギー学科教授	山田 一裕
2		盛岡森林管理署 署長	清水 邦夫	盛岡森林管理署 署長	伊藤 文彦
3		株式会社 やまびこ盛岡工場 管理課長	坂井 善隆	株式会社 やまびこ盛岡工場 管理課長	坂井 善隆
4		元滝沢村上下水道部 長	竹鼻 則雄	元滝沢村上下水道部 長	竹鼻 則雄
5	3条(1)イ 商工団体の推薦する者	滝沢市商工会理事 (建設業部会長)	田 村 武	滝沢市商工会理事 (建設業部会長)	田 村 武
6	3条(1)ウ 消費者団体の推薦する者	いわて生活協同組合 理事	反町 久美	いわて生活協同組合 理事	反町 久美
7	3条(2) 住民公募		矢野 直子		遠藤 安春
8			宮原 太真子		赤石 友子
9			大山 久美子		吉田 浩子

(2) 懇談会開催経過

**滝沢市下水道事業経営懇談会 審議経過**

平成 24 年 11 月 22 日 平成 24 年度第 1 回滝沢村下水道事業経営懇談会 (出席委員 9 名)

報告 ○平成23年度の下水道事業実施概要及び決算概要について

○平成24年度の下水道事業計画及び予算概要について

○下水道事業の将来のあり方について

審議 ●平成25年度予算の基本方針について

●経営計画の策定について

平成 25 年 11 月 25 日 平成 25 年度第 1 回滝沢村下水道事業経営懇談会(出席委員 9 名)

◇会長及び副会長選任

報告 ○平成24年度の下水道事業実施概要及び決算概要

○平成25年度の下水道事業計画及び予算概要について

○消費税法の一部改正に伴う下水道使用料等の対応方針について

審議 ●平成26年度予算の基本方針について

●経営計画の策定について

平成 26 年 2 月 27 日 平成 25 年度第 2 回滝沢市下水道事業経営懇談会

(出席委員 8 名、傍聴人 2 名)

審議 ●経営計画の策定について

平成 26 年 10 月 17 日 平成 26 年度第 1 回滝沢市下水道事業経営懇談会(出席委員 6 名)

審議 ●滝沢市汚水処理実施計画の見直しについて

●経営計画の策定について

●意見書の策定について

平成 26 年 11 月 28 日 平成 26 年度第 2 回滝沢市下水道事業経営懇談会

審議 ●滝沢市汚水処理実施計画の見直しについて

●経営計画の策定について

●意見書の策定について